



リアローラーブラシアダプターキット
Greensmaster® 3250-D および TriFlex® 3300および3400シリーズ の
DPAカッティングユニット
モデル番号 132-0723

取り付け要領

取り付け

付属部品

すべての部品がそろっているか、下の表で確認してください。

手順	内容	数量	用途
1	必要なパーツはありません。	–	マシンの準備を行う。
2	必要なパーツはありません。	–	ローラーブラシの位置を決定します。
3	必要なパーツはありません。	–	カウンターウエイトとプラグを取り外す。
4	必要なパーツはありません。	–	モーターマウントを取り外す (Greensmaster 3200シリーズマシン、#3カッティングユニットのみ)。
5	必要なパーツはありません。	–	ドライブスラインを取り外す。
6	右側アダプター リング アダプタハウジング ボルト5/16 x 5/8" 左側アダプターモデル04358および 04384のみ ワッシャーモデル04358および04384のみ	1 1 1 1 1 1	アダプターの取り付け。

注 このキットは、ユニバーサルグルーマー(モデル 04648)と組み合わせて使わない場合にのみ、リアローラーブラシ(モデル04650)アタッチメントと適合させて使います。

注 左側のアダプターはモデル04358および04384でのみ必要です。

注 前後左右は運転位置からみた方向です。



1

マシンの準備を行う

必要なパーツはありません。

手順

1. マシンを平らな場所に駐車し、カッティングユニット解除し、駐車ブレーキを掛けます。
2. エンジンを止め、キーを抜き取り、すべての可動部が停止するまで待つ。
3. トラクションユニットにカッティングユニットが取り付けられている場合は外す詳細はトラクションユニットのオペレーターズマニュアルを参照。

2

ローラブラシの向きを決める

必要なパーツはありません。

手順

ローラーブラシの適切な位置を決定するために次の図を使います。

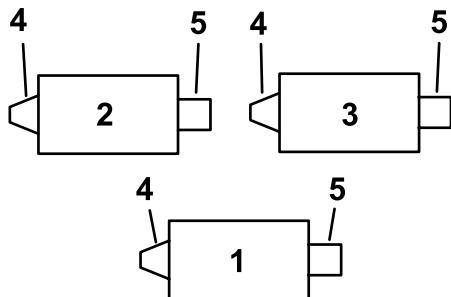


図 1

Greensmaster 3150 (モデル 04358)

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1. 1 番カッティングユニット | 4. 左ローラブラシ駆動アセンブリ |
| 2. 2 番カッティングユニット | 5. リールモータ |
| 3. 3 番カッティングユニット | 6. 右ローラブラシ駆動アセンブリ |

g540377

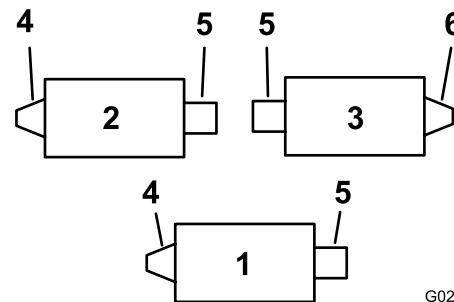


図 2

Greensmaster 3250-D (モデル 04384)

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1. 1 番カッティングユニット | 4. 左ローラブラシ駆動アセンブリ |
| 2. 2 番カッティングユニット | 5. リールモータ |
| 3. 3 番カッティングユニット | 6. 右ローラブラシ駆動アセンブリ |

g029306

g029306

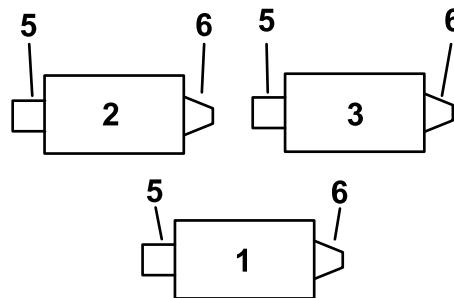


図 3

Greenmaster TriFlexおよびeTriFlexシリーズ

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1. 1 番カッティングユニット | 4. 左ローラブラシ駆動アセンブリ |
| 2. 2 番カッティングユニット | 5. リールモータ |
| 3. 3 番カッティングユニット | 6. 右ローラブラシ駆動アセンブリ |

g540378

3

カウンターウェイトとプラグの取り外し全機種共通

必要なパーツはありません。

手順

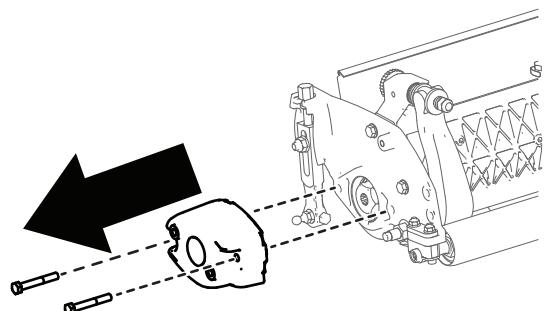


図 4

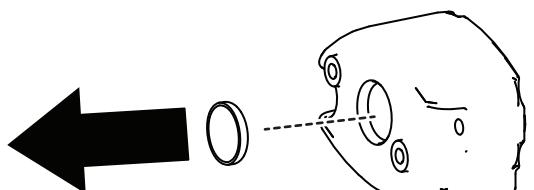


図 5

4

モーターマウントを外す

Greensmaster 3200シリーズマシン、#3カッティングユニットのみ

必要なパーツはありません。

手順

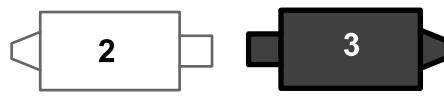


図 6

Greensmaster 3250-D (モデル 048384)

-
- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1. 1番カッティングユニット | 3. 3番カッティングユニット |
| 2. 2番カッティングユニット | |
-
1. モーターマウントをカッティングユニットのサイドプレートに固定しているボルト2本を外し、モーターマウントを取り外す。

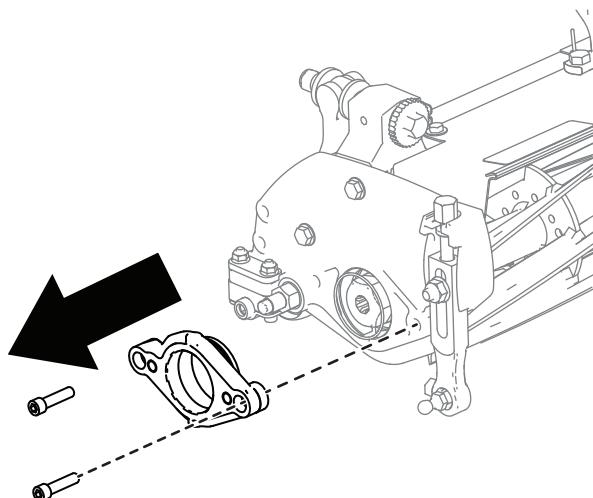


図 7

-
2. ウエートを取り外した場所にモーターマウントを取り付ける。

5

ドライブスプーラーの取り外し 全機種共通

必要なパーツはありません。

手順

△ 警告

リール刃は非常に鋭利で、手足を切断できるほどである。

- リールの軌道内に手足を入れないこと。
- リールに作業を行う場合には、リールが回転しないよう確実に固定すること。

1. 削除するドライブスプーラーを特定する。

注 カッティングユニットの側面にあるローラーブラシドライブアセンブリからドライブスプーラーを取り外す。**2 ローラーブラシの向きを決める(ページ2)を参照方。**

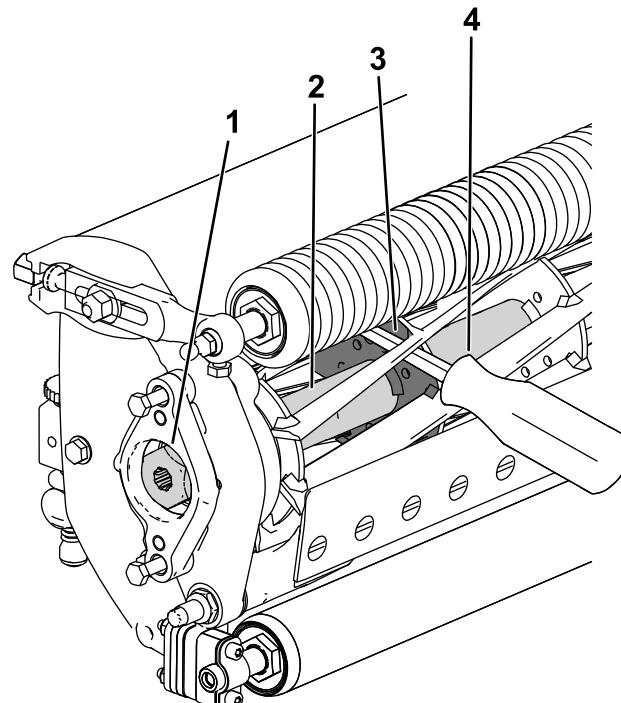
2. リールを動かないようにする。

- リールの底部にアクセスできるようにカッティングユニットを立てる。
- 長い柄のバードライバーハンドル付きの $\frac{3}{8}$ x 12"を推奨を、トルク締めするカッティングユニットの側面に最も近いカッティングリールの底部に挿入する。
- リールサポートプレートの溶接面側にバールを当てる。

注 リールのシャフトの上側と枚のリール刃の背中側にバールを差し込むと、リールが回転できなくなる。

重要 リールの刃先にバールを触ると刃こぼれなどを起こすバールを当てないように十分注意すること。

重要 カッティングユニット左側のインサートは左ねじです。カッティングユニット右側のインサートは右ねじです。



g280339

図 8

- 駆動スプーラー
- リールシャフト
- リールサポートプレートの溶接側
- バール

D. バールの握り部分をローラに載せる。

E. バールが所定の位置に留まっていることを確認しながらドライブスプーラーインサートを取り外し、その後でバールを取り外す。

F. ローラが下になるようにカッティングユニットを降ろす。

- 乾いた清潔な布を使って、カッティングユニットの端にある雌ネジを清掃する。

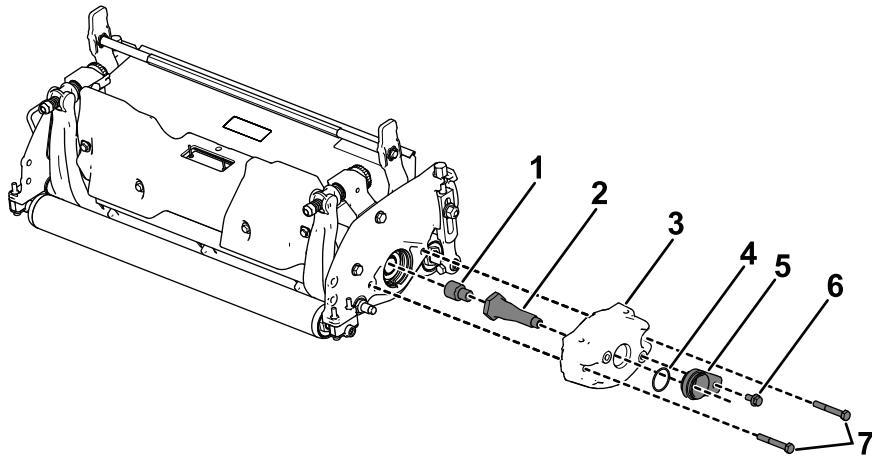
6

アダプターの取り付け

この作業に必要なパーツ

1	右側アダプター
1	リング
1	アダプタハウジング
1	ボルト5/16 x 5/8"
1	左側アダプターモデル04358および04384のみ
1	ワッシャーモデル04358および04384のみ

右側アダプタの取り付け



g538970

図 9

図示の電動モーターを構成するカウンターウェイトの向き

- | | | | |
|------------|---------|-------------------|---------------------|
| 1. 右側アダプター | 3. ウェイト | 5. アダプタハウジング | 7. ボルト5/16 x 2 1/4" |
| 2. 駆動シャフト | 4. リング | 6. ボルト5/16 x 5/8" | |

1. ドライブシャフトの雌ネジにネジロック剤を塗布する。アダプターをドライブシャフトに129142 N·m 13.915.3kgmでトルク締めする図 9。

重要カッティングユニット左側のインサートは左ねじです。カッティングユニット右側のインサートは右ねじです。

注カッティングユニットの左側のアダプターは黒色です。カッティングユニットの右側のアダプターは銀色です。

2. リールシャフトの雌ネジにネジロック剤を塗布する。
3. リールを動かないようにする。
- A. 長い柄のバール9 mm x 30 cm 程度のドライバータイプのもの。握りのついているものが

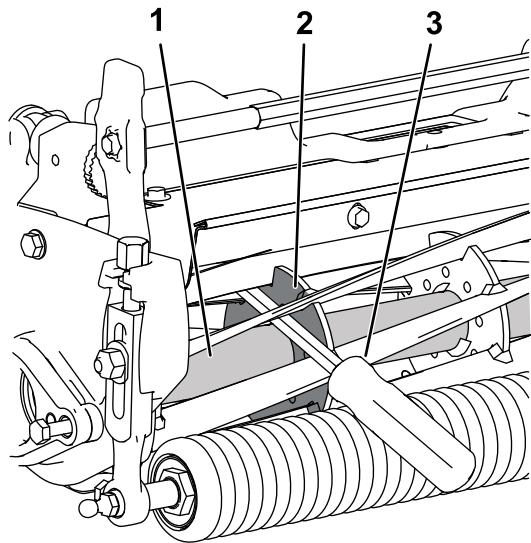
よいを用意する。バールは、トルク作業を行う側に近い側で、リールの前から差し込むようにする図 10。

- B. リールサポートプレートの溶接されている側からバールを入れ図 12、

注リールのシャフトの上側と枚のリール刃の背中側にバールを差し込むと、リールが回転できなくなる。

重要リールの刃先にバールを触れると刃こぼれなどを起こすバールを当てないように十分注意すること。

重要カッティングユニット左側のインサートは左ねじです。カッティングユニット右側のインサートは右ねじです。



g542637

図 10

- 1. リールシャフト
- 2. サポートプレートの溶接側
- 3. バール

-
- C. バールの握り部分をローラに載せる。
 - D. バールを保持しながら、ねじ山付きインサートの説明通りにインサートを取り付ける。インサートを支持された値までトルク締めする。
 - E. バールを外す。
 - 4. バールが所定の位置に留まっていることを確認しながら、アダプターアセンブリをリール内に取り付け、 $115\,129\text{ N}\cdot\text{m}$ ($12.4\,13.9\text{kgm}$) でトルク締めする。
 - 5. バールを外す。
 - 6. 以前取り外したウェイトを、対応する2本のボルト ($5/16 \times 2\frac{1}{4}''$) を使って取り付ける。 [図 9](#)を参照方。
 - 7. Oリングとアダプタハウジングをウェイトに取り付ける。ボルト $5/16 \times \frac{5}{8}''$ で固定する。 [図 9](#)を参照方。

左側アダプタの取り付け

モデル04358と04384のみ

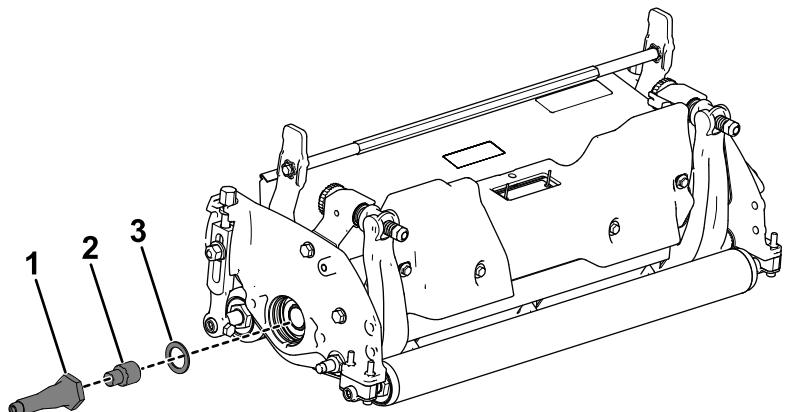


図 11

g538981

1. 駆動シャフト

2. 左側アダプタ

3. ワッシャ

- ドライブシャフトの雌ネジにネジロック剤を塗布する。アダプターをドライブシャフトに129142 N·m 13.915.3kgmでトルク締めする図 9。

重要カッティングユニット左側のインサートは左ねじです。カッティングユニット右側のインサートは右ねじです。

注カッティングユニットの左側のアダプターは黒色です。カッティングユニットの右側のアダプターは銀色です。

- リールシャフトの雌ネジにネジロック剤を塗布する。
- リールを動かないようにする。
 - 長い柄のバルドライバーハンドル付きの $\frac{3}{8} \times 12"$ を推奨を、トルク締めするカッティングユニットの側面に最も近いカッティングリールの前側に挿入する(図 12)。
 - リールサポートプレートの溶接されている側からバールを入れ図 12、

注リールのシャフトの上側と枚のリール刃の背中側にバールを差し込むと、リールが回転できなくなる。

重要リールの刃先にバールを触ると刃こぼれなどを起こすバールを当てないように十分注意すること。

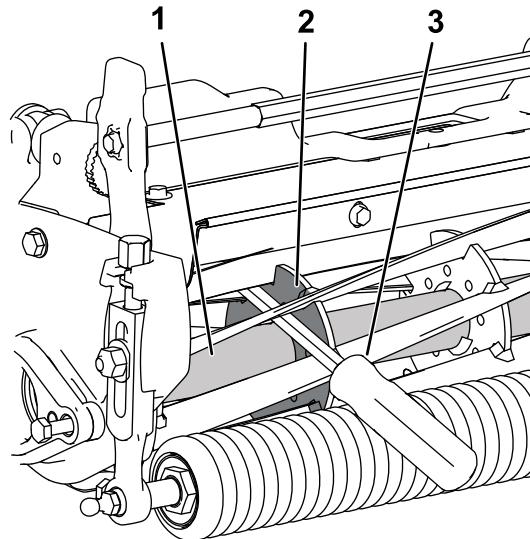


図 12

g542637

- リールシャフト
- サポートプレートの溶接側
- バール

C. バールの握り部分をローラに載せる。

- ワッシャーとアダプターセンブリをリールに取り付け、115129 N·m (12.413.9kgm)でトルク締めする。図 11を参照方。
- バールを外す。
- 以前取り外したウェイトを、対応する2本のボルト($5/16 \times 2\frac{1}{4}"$)を使って取り付ける。図 9を参考方。
- Oリングとアダプタハウジングをウェイトに取り付ける。ボルト $5/16 \times \frac{5}{8}"$ で固定する。図 9を参考方。



Count on it.